

今日も「丁あがり」

第18話 テクノロジーが距離や時間の概念を一変させる! の巻

皆さん、こんにちは! 驚くほどヤル気がみなぎっていて、もちろんGWも休みなし!! たいいま覚醒中のロブストス高垣でございます。

突然ですが、皆さんは会計処理をどうされていますか? 一日24時間と限られたなかでなんとか経理処理にかける時間を最小限に抑えたくて、昨年度からクラウド会計に切り替えました。銀行のATMで通帳記帳していた頃にはもう戻れません(笑)。銀行口座やクレジットカードの出入金はワンクリックで抽出できてAIが仕訳してくれます。銀行残高の増減も融資残高もリアルタイムで把握できるわけです。ネットバンキングで、面倒なワンタイムパスワードを打ち込んで記帳データをダウンロードして、税理士さんに送信——それすらもやめるべきです。クラウド会計を税理士と共同管理して、請求書も経費の領収書もスマホやスキャナーで取り込んでシェア。税理士に相談する要件があれば、

skypeで打ち合わせ。年間を通じて、半径2m以内ですべての経理作業を終わらせることができるので、本当にオススメです。ところが、製造業の皆さんも農家さんもなかなか導入されていないんです。SNS全盛の時代、機械や農作業以外にも管理業務の部分も情報交換しておかないともったいないですよ。ということで、今回は弊社にとって最南端のお客様からの依頼案件を紹介しましょう!

部品加工屋のない 離島農業のお手伝い

弊社の得意分野は駆動部品の復元ですが、今回の依頼元はな、な、なんと鹿児島県奄美群島の喜界島の農協さん!! 摩耗した部品が宅配便で届き、「ロータリのスプロケットを超特急で仕上げて欲しい」とのこと。汎用スプロケットの追加加工で処理できれば安価に抑えられますが、メーカー側の在庫切れで入荷待ち。製作



高垣達郎 (たかがき・たつろう)
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に㈱ロブストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。㈱ロブストス代表取締役社長。

費は上がっても納期優先とのこと、今回は削り出しでスプロケットを複製することに!

熱処理屋にスプロケットを持っていく車中で「喜界島ってどんな島なんだろう?」とふと思ひまして、グローバルアースで覗いてみました。高低差の少ない農地がきれいに区画化されて島の中心部まで広がっていて、まさに農業の島ではありませんか! 島の産業構造を調べてみると、サト

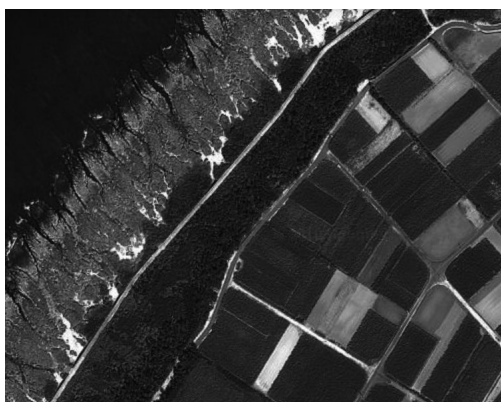


写真1: Google Earthで眺めた喜界島の航空写真。1,500kmも離れた島の農地に目が釘付けに!



写真2: 速攻で製作してヤマト運輸に配達を託した新品のスプロケット

ウキビがメインで、製造業は食品加工が60%以上を占めている様子。おそらく鉄工所は少ないだろうと思つて話を聞けば、鉄工所は3軒あるものの旋盤加工など部品加工屋はないらしい。電話でそんなこんなを話しつつ、LINEで完成部品の画像を送信。喜界島と群馬県岩宿遺跡の近くとでこんなやりとりがされているなんて、結構ロマンチックだと思いませんか? テクノロジーが時間や距離の概念を一変させてしまうんですよ。誰かに喜んでもらうためにより多くのエネルギーを投入できる時代だと感じます。ゆくゆくは喜界島の農業の「困った」を丸ごとサポートできたらとか考えたら、夢が広がりますよね。ということで、今日も一丁あがり~~~~